# 活動報告

## 1. 役員会

## 【第 10 回通常理事会】

6月8日、第10回通常理事会を当研究所会議室で開催しました。2014年度の事業報告、決算報告等を審議し承認を得ました。また、同理事会開催日までの今年度の事業活動状況についての報告を行いました。

### 【第6定時評議員会】

6月26日、第6回定時評議員会を当研究所会議室で開催しました。2014年度の事業報告、決算報告等を審議し承認を得ました。また、同理事会開催日までの今年度の事業活動状況についての報告を行いました。

また、定款の改定により専務理事を代表理事にしました。

評議員の辞任の申し出があった手 島氏に代わり、猪口孝新潟県立大学学 長を選出しました。

なお、決算報告、事業報告等はホームページに掲載しています。

(http://www.iti.or.jp/jigyou.htm)

# <u>2. 最近のプロジェクト・調査研究</u> 活動から

(1) 研究会の開催

【国際貿易投資研究会】

第3回(7月13日)

テーマ: 「TTIP の現状と課題」(安田啓世界平和研究所研究員)

第4回(9月7日)

テーマ:「最新の対外経済政策を探 る:通商白書2015より」(谷澤厚志 経済産業省通商政策局企画調査室 課長補佐)

第5回(10月5日)

テーマ:「JETRO 世界貿易投資報告」(椎野幸平 JETRO 海外調査部国際経済課長)

第6回(11月30日)

テーマ:「TPP 大筋合意の気になる内容 と今後の行方」

パネリスト:

山澤逸平(一橋大学名誉教授)

渡邊頼純 (慶應義塾大学教授)

奥田聡(亜細亜大学教授)

菅原淳一(みずほ総合研究所上席主 任研究員) 中島朋義(環日本海経済研究所主任 ITI 客員研究員) 研究員)

モデレーター:馬田啓一(杏林大学 客員教授)

【標準化研究会】(JKA 補助事業)

第1回(6月4日)

テーマ:「企業によう基礎技術の共同 研究に関する日本の法制」(松下満 雄 東京大学名誉教授)

第2回(11月26日)

テーマ:「独・EU の共同研究・政府支 援の法制 | (高橋岩和 明治大学法 学部教授)

【ドイツのクラスター政策研究会】 (JKA 補助事業)

第1回 7月31日 本年度の調査。

報告内容に関して意見交換。今後の 日程調整等を決定。委員長に新井俊 三 ITI 客員研究員を選出。

第2回 10月9日

テーマ:「ドイツのクラスター政策と クラスターの現状 L (新井俊三 ITI 客員研究員)

第3回 11月18日(水)

テーマ:「ドイツのクラスター政策 ゴー・クラスターと先端クラスタ ー・コンペティション」(田中信世

【「ASEAN の投資可能性とリスク」研究 会】(JKA 補助事業)

第2回 8月13日

- ① 「ASEAN 投資環境の評価とリスク (CLMV) | (春日尚雄 福井県立大 学地域経済研究所教授)
- ② 「ASEAN 投資環境の評価とリスク」 (助川成也 日本貿易振興機構 海外地域戦略主幹)

第3回

「中小企業の海外事業リスク」(石 川幸一 ITI 客員研究員) 「ASEAN を中心とする FTA の影響分 析 I (吉岡武臣 III 主任研究員)

【アジアサプライチェーン研究会】 (JKA 補助事業)

第1回 7月1日

テーマ:「大メコン圏における物流」 (藤村学 青川学院大学教授)

第2回 9月8日

テーマ:「大メコン圏における日系企 業の活動状況」(池部亭 ジェトロ アジア太平洋州課長)

第3回 11月17日

テーマ:「タイ系企業による周辺国展 開」(黒川基裕 高崎経済大学教授)

### 【BOP 研究会】

第2回 7月27日

テーマ:「フェアトレードとコミュニ ティー ビジネス!

- (1)「ラオスのコーヒー生産者の事例 紹介~ラオス南部ボーラヴェーン 高原におけるコーヒー栽培農家の 生活と協同組合のコミュニティー 開発」(箕曲在引、委員)
- (2)「東チモールにおけるフェアトレードとコミュニティー開発」(井上 礼子 パルシック代表)

第3回 9月9日

テーマ:「開発途上国の一村一品運動」 (松井和久 コンサルタント)

第4回 10月28日

- (1)報告:途上国への適正技術移転と NGO-APEXの事例(福澤郁文委員)
- (2)報告:途上国への適正技術移転と 自治体一横浜市の事例:横浜市の公 民連携による新しい国際協力 ~ Y-PORT について(近藤 隆 横浜市国 際局国際協力課長)

第5回 11月16日

- ①報告:「コミュニティー・ビジネス と NGO の役割~フィリピン CARD MRI の事例から~」報告者:伊藤 道 雄氏
- ②報告:「中南米におけるコミュニティー・ビジネス」報告者:大木 博

#### 巳 ITI 事務局長

【メガ FTA 研究会】

第4回(7月29日)

テーマ:「韓国のFTA政策-韓米FTA・ 韓国 EUFTA 発効による影響と韓中 FTAへの期待-」(百本和弘ジェトロ 海外調査部主査)

第5回(9月30日)

テーマ:「マレーシア・ナジブ政権の ブミプトラ政策と TPP」(小野沢純 ITI 客員研究員)

第6回(10月27日)

テーマ: TPP と貿易促進権限法(滝井 光夫 桜美林大学名誉教授)

第7回(11月25日)

テーマ: 「衰退する日本の対米輸出と TPP」(大木博巳事務局長)

#### 【中国研究会】

第1回(7月9日)

テーマ:「中国における海外投資管理制度の発展と課題」(江利紅 中国 華東政法大学法律学院教授 法治 政治研究所所長・弁護士)

第2回(10月28日)

テーマ:「一帯一路(シルクロード) 発展戦略と走出去の新たな展開〜 国際産能合作の進展、国有企業改革 方案の意義、中国東北地区の復権を

## 踏まえて~」(江原規由)

#### 【欧州研究会】

第1回(8月3日)

テーマ: 本年度テーマの決定、今後の 報告者の調整

# 3. 調査研究報告書など(成果の普 及活動)

(1) 「国際貿易と投資」記念特別増刊 号の発行

本誌(「季刊・国際貿易と投資」)は、 当研究所発足時から発刊してから 100 号となることを機会に、外部識者等の 寄稿を中心にした特別増刊号を発行 しました。

特別増刊号のテーマは『変革を待つWTO、拡大深化するFTA』と題し、多くの方々に執筆をお願いしました(151ページ参照)。

なお、特別増刊号は ITI の HP で全 文公開しますが、特別頒布価格(2500 円)でご購入もできます。

## (2) 調査研究報告書の発行

調査研究成果を報告書にとりまとめて発行しました。2015年度に発刊した調査研究報告書は次のとおりです。

- ・「世界主要国の直接投資統計集~国 別編(2015年版)」(6月発行)
- ・「世界主要国の直接投資統計集~概 況編(2015年版)」(11月発行)

なお、統計刊行物は EXCEL 形式の統計データを収録した CD\_ROM 版を主にするよう変更し、有償で頒布しています。詳細は、お手数でも事務局(担当:宮本)までご連絡をお願いいたします。

e-mail: Jimukyoku@iti.or.jp 電話:03-5148-2601(担当:宮本)

#### (3) ITI 調査研究シリーズの発行

調査研究報告書と別に、研究所独自 の調査研究成果をとりまとめたのが 調査研究シリーズです。統計集以外の 調査研究シリーズの全文をネット上 に公表していますので、報告書全文を ダウンロードすることができます。

#### 【2015年度】

- ・「2100年の気温、産業革命前+2℃未満に抑制~所有権制度の改革で~」 (同 13号、執筆者:安本皓信 2015年6月)
- ・「世界主要国の直接投資統計集~国 別編~ 2015年版」(同14号、6月)
- ・「スウェーデンのマイナス金利政策 の意味」(同 15 号、執筆者:川野祐 司、7 月)

## (4) 会員対象の勉強会

会員を対象にした「勉強会」を研究 所内の会議室で開催しています。研究 所の研究プロジェクトの一環として 行う研究会をかねた場合もあります。 勉強会のご案内を会員の方に E-maul で差し上げています。お気軽にご参加 くださるようお願いいたします。

#### 第2回(7月1日)

テーマ:「メコン地域における交通インフラ」(講師:藤村学 青山学院大学教授)

第3回(7月29日)

テーマ:「韓国のFTA政策-韓米FTA・ 韓国 EUFTA 発効による影響と韓中 FTAへの期待-」(百本和弘ジェトロ 海外調査部主査)

第4回(9月8日)

テーマ:「大メコン圏における日系企業の活動状況」(池部亮 ジェトロアジア太平洋州課長)

第5回(9月30日)

テーマ:「マレーシア・ナジブ政権の ブミプトラ政策と TPP」(小野沢純 元拓殖大学教授)

第6回(10月27日)

テーマ:「米貿易促進権限法と TPP」(滝 井光夫 桜美林大学名誉教授)

第7回(11月17日)

テーマ:「タイ系企業による周辺国展開」(黒川基裕 高崎経済大学教授) 第8回(11月25日)

テーマ:「衰退する日本の対米輸出と TPP」(大木博巳事務局長)

(5) ミュンマーでの ITI セミナー ミャンマーの MIC (ミャンマー・インペリアル・カレッジ) と共催で MIC のMBA コースの学生を対象に日本企業 によるすそ野産業の育成、人材育成に ついての取組についてのセミナーを 開催しました。

このセミナーは本年度JKAの助成を受けて実施している「アジアサプライチェーン研究会」の委員長・高橋与志広島大学准教授と、同委員・黒川基裕高崎経済大学教授が講師を務めました。

- セミナー名: ITI-MIC seminar "Human Resources Effectiveness on Organizational Performance"
- 日時:8月6日18時から20時

#### (6) ITI セミナー

・「東アジア FTA/EPA の関税削減効果 と輸出競争力への影響」セミナー 9月3日、日本貿易振興機構(JETRO) と共催で、セミナーを JETRO で開催 しました。概要は次のとおりです。

158●季刊 国際貿易と投資 Winter 2015/No.102

- セミナー名:「東アジア FTA/EPA の 関税削減効果と輸出競争力への影響」

- 日時:9月3日

- 場所: JETRO 本部会議場(東京)

- 講演および講師
- ① 「アジアにおけるFTAの最新動向」 (椎野幸平 ジェトロ 海外調査部 国際経済課長)
- ② 「EPA/FTA の関税削減効果と輸出競争力への影響」(高橋俊樹 国際貿易投資研究所 研究主幹)
- ③ 「タイの対中国・ASEAN および日本 との FTA 効果と運用状況」(吉岡武 臣 国際貿易投資研究所 主任研究 員)

このセミナーは、応募者が多く会場の関係から定員(150名)を上回る参加希望者が集まりました。FTAによる関税引き下げ効果を生かした制度の活用の関心の高さを感じます。出席者も東京周辺に限らず、三重県、京都府、愛知県、長野県など広範囲にわたっていました。さらに、業種も多岐にわたり製造業ばかりでなくサービス業、各種事業者団体からの参加者も目立ちました。

「東アジア FTA/EPA の関税削減効果 と輸出競争力への影響」セミナー

#### (名古屋)

11月27日、JETRO名古屋と共催で、 セミナーを開催しました。

- テーマ:「東アジア FTA/EPA の関税 削減効果と輸出競争力への影響」
- 講演テーマおよび講師
- ① 「アジアにおける FTA の最新動向」 (椎野幸平 ジェトロ 海外調査部 国際経済課長)
- ② 「EPA/FTAの関税削減効果と輸出競争力への影響」(高橋俊樹 国際貿易投資研究所 研究主幹)
- ③ 「タイの対中国・ASEAN および日本 との FTA 効果と運用状況」(吉岡武 臣 国際貿易投資研究所 主任研究 員)
- ・「東アジア FTA」セミナー(大阪)12月4日、関西経済団体連合会、 JETRO 大阪、および ITI の共催で開催しました。
- テーマ: 「ASEAN 共同体 (AEC) 最新 動向と AEC 発足後の影響」
- 講演テーマおよび講師
- ① 「ASEAN 経済共同体(AEC)最新動 向と AEC 発足後の ASEAN 進出日系企 業への影響」(椎野幸平 JETRO 国際 経済課長)
- ② 「タイの対 ASEAN、中国、日本貿易における FTA / EPA の効果」(高橋俊樹 ITI 研究主幹)

## (7) AC-FTA に関する個別調査

AC-FTA(ASEAN 中国 FTA)についてはセミナーの開催に加え、団体主催の講演会あるいは企業内での勉強会等の AC-FTA を紹介する機会を得て調査研究成果の一端を紹介しています。

なお、AC-FTAの活用で自社の製品などに対する関税引き下げ効果の確認等の相談等が寄せられており、できる限りの協力をしています。また、ご要望に応じ個別調査のご依頼をお受けしています。

### 4. 世界経済評論

世界経済評論復刊 1号(通巻 682号) (2016年 1~2月号) は 12月 15日発刊します。世界経済評論復刊 1号(2016年 1~2月号) の内容は 151ページ参照。

なお、「世界経済評論」誌のご購読 および広告等の照会先は次のとおり です。

#### (株) 文眞堂

TEL: 03-3202-8480

e-mail: eigyou@bunshin-do.co.jp

また、ウエッブサイトに掲載してい た識者による「世界経済評論 IMPACT」 も、再開しました。

#### 5. ホームページ

## (1) コラム欄

- 「産地が生き残るには何をすべきか イタリア眼鏡産地、ベッルーノの教 訓」(25号、5月22日、大木博巳)
- ・「イタリアの伝統産地を変貌させる 中国企業~プラートにおける磁場 の繊維産業の衰退と中国人アパレ ル企業の隆盛」(26 号、8 月 12 日、 大木博尺)

## (2) フラッシュ欄

- ・「EUの通商政策と FTA 戦略の展開(その 2)ー通商政策の立案・決定・交渉・協定批准プロセスー」(232 号、6月2日、田中友義)
- ・「最も輸出単価が低い輸出商品 HS85.32.24 (セラミック・コンデン サー:多層のもの) は約0.4 セント ー1ドルを下回る 「低単価輸出品」 の輸出(その1)ー」(233号、6月 2日、増田耕太郎)
- ・「輸出単価が 1 セント未満の輸出商品 -1 ドルを下回る 「低単価輸出品」の輸出(その2)-」(234号、同ト)
- ・「インドネシアによる JIEPA (日インドネシア経済連携協定) 合意の不履行について~ 日本からの輸入が多い乗用車で影響大」(235 号、6 月 2

160●季刊 *国際貿易と投資* Winter 2015/No.102

### 日、吉岡武臣)

- ・2100 年の気温、産業革命前+2℃未満に抑制~所有権制度の改革で~」(236号 安本皓信)
- 「ASEAN 経済共同体はどこへ向かうのか一見えてきた「ポスト 2015 ビジョン」(237 号、6 月 16 日、福永佳史)
- ・「混迷する貿易促進権限(TPA) 法案の米議会審議」(238 号、6 月 22 日、滝井光夫)
- ・「1株2倍議決権で仏政府の介入は強まるのかー雇用維持・産業保護が最大の目的ー」(239号、7月6日、田中友義)
- ・「復活した貿易促進権限(TPA)法と 貿易調整支援(TAA)法」(240号、7 月7日、滝井光夫)
- ・「ギリシャ金融支援問題の行方(その1) 交渉難航で事実上の債務不履行-」(241号、7月10日、田中友義)
- ・「トルコのしたたかな民主主義~戦 略的投票行動が求める『明るい未 来』~」(242 号、7 月 14 日、夏目 美詠子)
- ・「ギリシャ金融支援問題の行方(その 2)ーなお残るユー□離脱の火種-」 (243 号、7月 24 日、田中友義)
- ・「原油価格下落の影響」(244 号、7 月 16 日)

### 月30日、木村誠)

- ・「国際化に向けて動き出すミャンマー」(245号、大木博巳、8月18日)
- ・「10 年後の「真の欧州経済通貨同盟 (EMU)」実現目指す -欧州委員会、 ユンケル・プランを発表-」(246 号、 田中友義、9月3日)
- ・キューバ人対象の世論調査に見る対 米国関係への評価と期待(247号、 内多 允、9月15日)
- ・ユーロ導入後のリトアニア経済 (248 号、川野 祐司、9月 15日)
- ASEAN 経済共同体ブループリントの 進展状況(2015 年 8 月時点)(249 号、国際貿易投資研究所編、9月17 日)
- ・ギリシャは 30 年続いた政治経済体制を変革できるか 第3次支援策は開始されたが、困難な構造改革(250号、新井 俊三、9月18日)
- ・アフリカにおけるチャイニーズ・ボ ナンザの終焉~中国モデルを見直 し始めたサブサハラアフリカ~ (251号、大木 博巳、9月18日)
- ・難民危機に翻弄される欧州 受け入れ対応を巡って EU 内に亀裂 (252 号、田中 友義、10月 16日)
- ・ポスト TPP の米中関係と世界経済秩 序の行方(253 号、馬田 啓一、10 月 16 日)

## (3) 国際比較統計

ホームページの国際比較統計は、国際比較可能な形式のフォームで①「直接投資」、②「貿易」、③「サービス貿易」、④「マクロ経済統計」の3分野について掲載し、多くの方のリサーチ・インフラとして活用されています。最新の年次データに更新しました。

#### (4) 本誌論文等の検索

本誌掲載の論文・研究ノート等の全 文をホームページに掲載しています。 第 45 号 (2001 年 8 月号) 以降のもの は全て全文を HP 上にあります。

トップページにある Google の IP 内 検索を使い、ご関心の論文を探しダウ ンロードすることができます。

なお、本誌掲載論文をホームページ 上に公表すると、アクセスが急増する 傾向があります。最近は各種の調査レポートを紹介するサイトが増え、それ らの多くは本誌掲載論文を紹介対象 に選んでいます。

## 6. 所外活動など

#### 【講演等】

- ・湯澤三郎 (専務理事)
- JICA の対アフリカ6か国研修生に対する講義「先進国市場を対象にした輸出振興」(7月2日、北九州市)

- 「アフリカ市場における地方都市発ビジネスの優位性」と題する基調講演(9月16日、『アフリカ・ルワンダ共和国ビジネスセミナー ~キラリと光るアフリカの希望の国、ルワンダのビジネスチャンスを探る』)、(主催:神戸市、JETRO神戸・JICA・神戸情報大学院大学)
- ・大木博巳(事務局長)
- 桃山学院大学「衰退する日本の対米 輸出」(2015年10月16日)
- ・高橋俊樹(研究主幹)
- JETRO/ITI 共催セミナーを実施「東アジアのどのFTA が効果的か」(9月3日、東京)
- 中央大学にて米国経済論を講義(4 月~9月、東京)
- 中国政府機関主催(National Institute of International Strategy (NIIS)、Chinese Academy of Social Sciences (CASS))の ASEAN +3フォーラム(10+3 Connectivity Partnership International Forum) に参加し、報告。

報告テーマ「Master Plan on East Asian Connectivity: Japanese Perspective on the Priorities of East Asian Connectivity」(11月4 日~6日、北京)

・江原規由(研究主幹)

162●季刊 国際貿易と投資 Winter 2015/No.102

- 7月23日 国際問題研究所研究会で 報告。

「中国の対外発展戦略(FTA、一帯 一路、伙伴関係、国際産能合作)」 - 『人民中国』

- 10月7日 ニューズウィーク取材、 TPP の大筋合意に対する中国の見解・・高橋俊樹 について
- 10月8日 ひょうご講座 講演テー マ:一帯一路(シルクロード)の今 日的意義
- 10 月 16 日~19 日 日文研研究会出 席、『万博博覧会と人間の歴史』出 版記念及び報告。
- 10月24日(土)工学院孔子学院シ ンポ (テーマ:安保法制後の日中関 係、パネリスト)
- 10月26日~28日 北京出張 外交 部による日中韓シンポジウムで三 国の協力関係強化につき提言。
- 11 月 8 日 国際問題研究所 (JIIA) · アジア開発銀行研究所(ADBI)シン ポジウム(世界貿易秩序の現在-新 たな課題に向けて)

#### 【寄稿等】

- · 畠山襄(理事長)
- 「後から参加の日米は謙虚に」(8月 2日、日経新聞)
- ・大木博巳
- 「うまく噛み合っていないミャンマ

- 」(『貿易と関税』2015年11月)
- ・江原規由
- 『人民日報紙』へのコメント
- 「中国の特色ある外交」(6月号)

  - 「メガFTA 時代の新通商戦略 I(8月、 文宣堂)
  - 「アジアの開発と地域統合」(11月)。 日本評論社)
  - 「AEC が生まれる」(10月6日~20日、 ゼミナール 日本経済新聞)

#### 【出版】

- 『経済統合の新世紀』 (畠川襄、東洋経済新報社 2015 年 11月)

国際貿易投資研究会のメンバーが 中心になり執筆した本を発刊しまし た。

- 『メガ FTA 時代の新通商戦略』 (石川幸一・馬田啓一・高橋俊樹著、 文眞学 2015年7月)
- 『現代 ASEAN 経済論』 (石川幸一・朽木昭文・清水一史 編、文眞堂 2015年9月)

(事務局:大木博尺、寺川光士、井殿 みどり、宮本由紀子)

### 【季刊 国際貿易と投資

100 号記念増刊号】

本誌の発行が 100 号となったのを 記念し有識者の先生方に 特集テーマ「変革を待つ WTO、拡大深化する FTA」にちなんだ論文をご執筆いた だきました。

発行 2015年10月

申込先 (一財)国際貿易投資研究所

http://www.iti.or.jp

Tel: 03-5148-2601

e-mail jimukyoku@iti.or.jp

頒布価格 2,500 円

# 【世界経済評論の復刊 1号

(通巻 682 号)】

「世界経済評論」を復刊し、2015 年12月に復刊1号(通巻682号)を 発行します。

発売日: 2015年12月15日

申込み先 (株) 文眞堂

〒162-0041 東京都新宿区鶴巻町 533

Tel 03-3202-8480

http://www.bunshin-do.co.jp

定価 1,260円(消費税込み、送料別)

年間行動量 6,480円(消費税込み、

送料共)



